

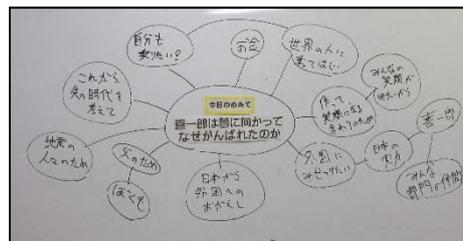
実践記録（小5・道徳）

1 ねらい

ホワイトボードによるマッピングや、マッピングシートを活用した情報の整理を行うことで、友達の考えを知ったり、努力することには様々な要因があることに気付いたりすることができるようにする。

2 手立て

- ・ ホワイトボードによるマッピングにより、情報の整理を行う。（資料1）
- ・ 友達と考えを共有する際、作品展に向けて努力することができた自分の経験について、豊田喜一郎が自動車を作るために努力することができた要因を基にマッピングシートを活用して考えを広げ、情報の整理を行う。



ホワイトボードに書き込まれたマッピング（資料1）

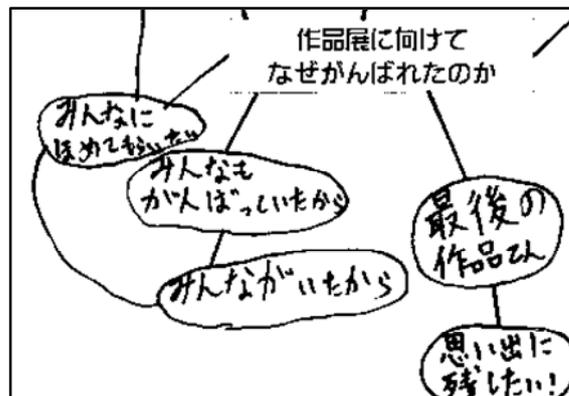
3 実践の様子

児童は、喜一郎が努力することができた要因として、「夢のため」「お金のため」「家族のため」「技術伝承のため」など頑張るための様々な理由を発言した。それらの要因を教師がホワイトボードに書き込み、情報を整理していった。ホワイトボードに書き込まれたマップを見て、これらの理由の一つ一つが、主人公を支えたことを理解することができた。

次に、自分たちも、喜一郎と同じように頑張ることができていたと考えさせるために、いよいよ作品展のイメージマップを作ることになった。「みんなも頑張っていた」「あきらめずにやったから」などの意見が出された。（資料2）普段は話せない子も「思いを伝えたいから」とイメージマップに書きこむことで、自分の気持ちを表現していた。（資料3）イメージマップ作成後の話し合いでは、「頑張るにはたくさんの理由があるね」、「これだけたくさんの理由があるから諦めずに頑張ることができたんだね」と話す児童もいた。自分の考えが広がり、深まる姿が見られた。



話し合いながら、作品展のマッピングをする児童（資料2）



児童が書いたマッピングシートの一部（資料3）

4 成果と課題

- 題材を自分のこととして考えることで、「目標に向かって頑張る」ことについて考えを深めることができた。
- イメージマップを作成することで、頑張る理由が様々なことを理解し、自分も頑張りを続けてみようと思えることができた。
- 取り組む内容がたくさんあり、全体的にじっくりと考える場面が取れなかったり、まとめの部分が時間内に収まらなかったりした。